

C A I では、学習画面が見やすく、またその内容がわかりやすく表現されていることが望まれます。ここでご紹介する「画面設計ヒント集」は、C A I を開発するにあたり、その適切な画面設計に役立てることをねらいとして、制作したものです。

実際には、文章表現、図画の大きさ、文章と図画の占有量から見た一画面としてのバランスの良さなど、様々な設計基準があげられますが、右の構成図からも明らかなおりに、ここでは、特に実画面上での検討を要すると思われるものを中心にまとめています。

文 献

吉田敦ほか（1987）C A I 教材の開発と試行に関する研究、訓研調査研究資料第80号

北垣郁雄（1987）コースウェアの開発作業における検討事項とオーサリングシステムの設計基準について、信学技報 AI87-10, p. 67-74

北垣郁雄、多賀谷敏夫（1988）C A I のコースウェアの設計基準と評価概念；画面設計を中心として、日本教育工学雑誌 12, 1, p. 21-28

北垣郁雄（1987）コンピュータを用いた教材開発の基礎研究、訓研調査研究資料第78号

CAI開発のための画面設計ヒント集

発行 1989年1月

発行者 職業訓練研究センター

所長 多賀谷 敏夫

〒229 神奈川県相模原市相原1960

電話 (0427) 61-9911 (代)

印刷 (株) 芳文社

〒160 東京都新宿区四谷4-30-1

電話 (03) 356-5887 (代)